

クロマグロ漁業の強度資源管理タイプの契約状況

平成 27 年 2 月より、新たに太平洋クロマグロを目的採捕する漁業が強度資源管理タイプに追加されました。強度資源管理タイプは、通常の資源管理計画よりも厳しい管理措置に取り組む計画を策定し参加する漁業者を支援するもので、積立がらずが通常より手厚い補償となります。

2 月の実施から 5 月末時点でのクロマグロ漁業の強度資源管理タイプの利用状況は以下の通りとなっています。

強度資源管理タイプ（クロマグロ漁業）の契約実績

（平成 27 年 2 月～5 月共済責任開始分）

（単位：件、百万円）

対象漁業	漁業共済		積立がらず	
	件数	共済金額	件数	漁業者積立額
小型合併漁業	583	2,541	572	102
大中型まき網漁業	11	5,018	11	528
一本釣り漁業等	26	366	26	17
定置漁業	93	5,140	95	362
合計	713	13,066	704	1,010

今後、強度資源管理タイプの利用者はさらに拡大することが予想されます。行政庁・漁協系統団体におかれましては、漁業者の計画の策定・実施への迅速な対応とご協力をお願い致します。

引き続き、より多くの漁業者に「ぎよさい」「積立がらず」を活用して頂けるよう普及推進に取り組んで参ります。

平成 27 年度の加入実績（5 月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	27 年度	26 年度	前年比	27 年度	26 年度	前年比
漁 獲 共 済	36,650	31,365	117%	1,719	1,415	122%
養 殖 共 済	86,963	78,817	110%	3,097	2,552	121%
特 定 養 殖 共 済	587	310	189%	34	16	208%
漁 業 施 設 共 済	4,249	3,898	109%			
地 域 共 済	877	671	131%			
合 計	129,326	115,061	112%	4,850	3,983	122%